

2021年12月2日

国際原子力機関（IAEA）との共同事業の一環として 実施した海洋試料採取等の概要（写真を含む）

我が国では、海域モニタリングデータの信頼性、透明性の向上のため、国際原子力機関（IAEA）との協力により、2014年から東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所近傍の海洋試料の採取、分析を実施しています。

本年は、11月9日から12日にかけて、IAEA環境研究所の専門家に加え、更なる透明性向上の観点から、IAEAから指名されたフランス、ドイツ、韓国のALMERA*メンバーの分析機関の専門家も来日し、試料の採取及び前処理の実施状況を確認しましたので、その様子をお知らせします。9日は荒天のため、海水及び海底土の採取が中止となり、専門家は8日に録画された試料採取時の動画や採取器具を港で確認しました。分析のための試料は8日と11日に採取されました（専門家による立会なし）。また、専門家は12日に海底土の前処理状況を確認しました。

*ALMERAは、IAEAによって1995年に設立された国際的な分析研究所の協力ネットワーク

この後は、日本、IAEA、フランス、ドイツ及び韓国の各参加分析機関が個別に分析を行い、IAEAが分析結果の信頼性評価を行います。

この事業は、福島第一原子力発電所の廃炉について、2013年度にIAEAがとりまとめた報告書**に記載された海域モニタリングに関する助言のフォローアップとして開始されたプロジェクトの一環です。

添付：海水及び海底土の採取及び前処理等の概要（写真を含む）

**IAEA INTERNATIONAL PEER REVIEW MISSION ON MID-AND-LONG-TERM ROADMAP TOWARDS THE DECOMMISSIONING OF TEPCO'S FUKUSHIMA DAIICHI NUCLEAR POWER STATION UNITS 1-4 (Second Mission)

以上

《担当》

【海水・海底土試料の採取等に関する事】

原子力規制庁 放射線防護グループ 監視情報課

担当：佐々木、二宮、武藤

電話：03-3581-3352(代表)

03-5114-2125(直通)

【水産物試料の採取等に関する事】

水産庁 増殖推進部 研究指導課

担当：中山、荻野

電話：03-3502-8111(代表)

(内線6782)

03-6744-2030(直通)

【IAEAとの協力に関する事】

外務省 軍縮不拡散・科学部 国際原子力協力室

担当：播本

電話：03-5501-8000(代表)

(内線2523)

【添付】【attachment】
(in both Japanese and English)



分析機関間比較の現地ミッションへの参加メンバー：
IAEA及びフランス、ドイツ、韓国の分析機関の専門家、
原子力規制庁職員等

Participants in the field mission for the inter-laboratory comparison (ILC): experts from IAEA and laboratories in France, Germany and the Republic of Korea, staff of the Secretariat of Nuclear Regulation Authority (NRA), etc.



海水・海底土の採取は8日と11日に実施。荒天のため
9日は、8日に実施した海水及び海底土の採取の動画
や採取器具を専門家が港で確認

Collections of seawater and sediment were conducted on the 8th and the 11th. Due to stormy weather on the 9th, the experts viewed a video of the collections of seawater and sediment recorded on 8th and instruments for these collections at a port near FDNPS.



東京電力福島第一原子力発電所沖で表層海水試料
を採取しているところ（海水を大型プラスチック容器に採
取し、その容器付属の4つのバルブから同時に各容器に
分取した。）（*8日実施時の様子）

Collecting surface seawater off the coast of TEPCO's Fukushima Daiichi NPS (A large plastic container with four valves was at first filled with seawater and then sub-samples were filled to cubitainers from each valve at one time.)(*Picture taken on the 8th)



陸上げた海水試料を確認後、各分析機関に向けて
移送するための準備をしている様子（*8日実施時の
様子）

Confirming the landed seawater samples and preparing to transport them to each analytical laboratory. (*Picture taken on the 8th)

これらの海水試料は、分析機関間比較のために、日本、IAEA、フランス、ドイツ、韓国の各分析機関へ供されます。
These seawater samples will be provided to the analytical laboratories in Japan, IAEA, France Germany and the Republic of Korea for the ILC.



東京電力福島第一原子力発電所沖で海底土試料を採取しているところ (* 8日実施時の様子)

Collecting sediment samples off the coast of TEPCO's Fukushima Daiichi NPS. (*Picture taken on the 8th)



採泥器から海底土試料を取り出している様子 (* 8日実施時の様子)

Taking out a sediment sample from a grab sampler. (*Picture taken on the 8th)



海底土試料について、乾燥器による乾燥、ヘラによる粉碎、2mm及び0.25mmのふるい分けを行った後、二分器による試料分割を行っている様子

Sediment sample after oven-dried, crushed by a spatula, and sieved through a 2mm and 0.25mm screen was divided by a splitter.



分析機関間比較のための海底土試料前処理への参加メンバー：IAEA及びフランス、ドイツ及び韓国の分析機関の専門家、原子力規制庁職員等

Participants in the sediment sample pretreatment for the ILC : experts from IAEA and laboratories in France, Germany and the Republic of Korea, staff of the Secretariat of NRA, etc.

これらの日本で前処理された海底土試料は、分析機関間比較のために、IAEA環境研究所による均質性試験を経て、日本、IAEA、フランス、ドイツ、韓国の各分析機関へ供されます。

After the pretreatment in Japan and the homogeneity test by IAEA Environment Laboratories, these sediment samples will be provided to analytical laboratories in Japan, IAEA, France, Germany and the Republic of Korea for the ILC.